

年末年始休暇を利用して当時の担当広報官を訪問 「部隊勤務も公私共に充実して楽しい！」



左から、平原所長、相崎2士、尾花2士、石村曹長（広報官）

神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長 平原1陸尉）は、12月24日（火）、年末年始休暇を利用して当務所に訪れた相崎2士と尾花2士と面会した。相崎2士は横浜市の出身で、当事務所の広報官石村曹長が受験から入隊までを担当した隊員で、めでたく自衛官候補生に合格し平成31年の春、陸上自衛隊滝ヶ原駐屯地新隊員教育隊に入隊、現在同駐屯地の普通科教導連隊に所属している。着隊時は「横浜から富士地区に入隊することに対し、不安を持っていました」と振り返るとともに「今では住めば都で、もうすっかり慣れました」と頼もしく話し、充実している様子がうかがえた。また一緒に訪れた同期で同じ部隊所属の尾花2士も「友人もたくさん出来て、公私共に楽しく過ごしています」と笑顔で話してくれた。石村曹長は、「立派になった相崎2士・尾花2士の姿を見て、また部隊勤務も楽しいと聞いて安心した」と感激していた。最後に本部庁舎の前で記念写真を撮り、今後の部隊での活躍を祈りつつ二人を激励して見送った。

横浜中央募集案内所は、「今後も巣立っていった隊員を学校訪問などで活用するなど所属部隊に促し、連携した募集広報活動を実施していきたい」としている。

横浜市の地域住民が艦艇見学 「護衛艦で働く自衛官に憧れた」



自衛官サンタから贈り物を受け取る子供

神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長 平原1陸尉）は、12月25日（水）海上自衛隊横須賀基地で実施された護衛艦「いずも」の見学会を支援した。これは横浜市の法人会青年部が主催したもので、地域住民と子供達を対象に社会科見学の二環として「自衛隊の仕事、船とそこで働く人たちについて学びたい」という要望を受けて実施したものである。当日は、地域の大人12名と小学6年生38名が参加し、開始時は曇り空だったが護衛艦の上甲板に出るとすっかり晴れて寒さも和らぎ、絶好の見学日和となった。航空管制室や艦橋など、ほとんどが初めての見学とあって真剣な眼差しで隊員の説明に聞き入っていた。次の衛生休養室では、隊員用の治療室があることに驚くとともに食堂では「護衛艦での食事は美味しいですか？」や、他に生活面の質問も多く飛び出るなど、興味を持っていることがうかがえた。最後に子供達からは「想像していたより船が大きくてびっくりした！」「護衛艦で働く自衛官に憧れた」などの感想が聞けた。

横浜中央募集案内所は、「今後もこのような見学会を通じ、自衛隊の現場を理解してもらうとともに、防衛意識の向上を図っていきたい」としている。



護衛艦「いずも」を見学する参加者

